

No. 2983

2021-2022年度

会 長 松村 秀一
幹 事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

- 令和3年9月30日 第2984回
・ 外部卓話：前田 悦男 氏（有田市教育長）
・ ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

- 令和3年10月14日 第2985回
・ 前期IDM発表
・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第2983回例会）

開催日 令和3年9月9日(木)

点 鐘 [松村君]

ゲストの紹介 [丸山親睦活動委員長]

ゲスト：国際ロータリー第2640地区 2021-2022年度
ガバナー 豊岡 敬 様
ガバナー補佐 中西 秀文 様

願ひ致します。

丸山君：豊岡ガバナー、中西ガバナー補佐、ようこそ有田ロータリークラブへ！今日はよろしくお願いします。

児嶋君：初めまして。豊岡ガバナー、中西ガバナー補佐、本日はよろしくお願い致します。川口健太郎君、代表取締役社長就任、おめでとございます。

菅原君：豊岡ガバナー、ガバナーアドレス宜しくお願い致します。

脇村君：本日は、ガバナー公式訪問、豊岡ガバナー、ガバナーアドレスよろしくお願いします。

ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：豊岡敬ガバナー、ガバナーアドレスよろしくお願いします。中西秀文ガバナー補佐、クラブ協議会の総括よろしくお願いします。

川口君：本日のガバナー公式訪問、豊岡ガバナー、中西ガバナー補佐、宜しくお願い致します。

岩橋君：豊岡敬ガバナー、本日はよろしくお願いします。

上野山(捷)君：豊岡ガバナー、ガバナーアドレス宜しくお願い致します。

宮井君：豊岡敬ガバナー、中西秀文ガバナー補佐、コロナ禍で何かと制限される中、本日の公式訪問、「ZOOM」にてご出席いただきありがとうございます。ガバナーアドレス宜しくお願い致します。

上野山(栄)君：豊岡ガバナー様、いつもありがとうございます。本日は公式訪問ありがとうございます。中西AG、今後ともよろしくお願いいたします。

中元君：豊岡ガバナー、本日のガバナーアドレス宜しくお願いいたします。

橋爪(誠)君：豊岡ガバナー、中西2分区ガバナー補佐、本日よりよろしくお願い致します。勉強させていただきます。

木本君：豊岡ガバナー、中西ガバナー補佐、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日のガバナーアドレス、宜しくお願い

出席報告 [木本例会運営委員長]

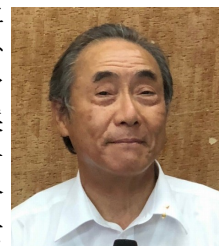
本日の会員数27名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数24名
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [松村会長]

「TOKYO2020」

東京オリンピックで初めて採用された競技は5種目あります。空手・スケートボード・スポーツクライミング・サーフィンは。その他既存の競技で新しく採用された種目がたくさんありました。その多くが混合団体や混合リレー・混合メドレーリレー・混合ダブルスなど男女混合団体種目でした。

パラリンピックでもテコンドー・バドミントンが新たに実施されました。ユニバーサルリレーもありました。これは男女混合の障害の異なる4選手がバトンではなくタッチをつなぐトラック競技です。



オリンピック・パラリンピックが終わり、どのシーンに一番感銘を受けたか振り返ると私の場合、スケートボードです。この競技が採用されたのは若者をより多く取り込みたいという狙いがありました。競技が始まると若者言葉による解説が話題になりました。

無観客でしたが競技者同士の仲間意識のような雰囲気と若者ファッションやカルチャーでゲームを楽しむ感覚で競技というよりもお祭りみたいな印象でした。

するほうも見るほうも楽しむことが最優先で順位は2の次であるというメッセージが強く伝わってきてテレビを見た後はとても晴れやかな気持ちになりました。

ロータリー活動も若者をより多く取り込むことが出来ればより活発になることでしょう。

幹事報告 [川口幹事]

報告連絡事項5件ございます。

- 1.世界ポリオデー「トレインジャックプロジェクト」のご案内。
- 2.第2回青少年・ライラ委員会開案内。
- 3.週報等配送物の変更のご案内。
- 4.本日の例会終了後、クラブ協議会を開催致します。
- 5.米山梅吉記念館 館報の回覧。



ロータリー友誌

[嶋田ロータリー広報委員]

【横組】

P.5 RI会長のメッセージが載っています。

どうすれば識字率向上によって、人々の暮らしを豊かにするための奉仕ができるのか。今月はその方法を模索してみましょう。読み書きの習得は、貧困を脱出するための第1歩です。

P.6 2021-22年度 RI会長テーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」



P.8-P.13 基本的教育と識字率の向上の取り組み

- ・SDGsの絵本
- ・ヘルプマークを知っていますか？P.12-13には配慮を必要とする人のためのヘルプマークが載っています。

P.19 公式ロゴを変形したり、一部だけ使用したり、指定された色以外を使うことは禁じられています。

P.23-P.27 新しいロータリー財団資金モデルの手引き

P.28-P.31 ロータリー希望の風の奨学金の歩み

電子書籍で見ることが出来ます。(P.31下部にQRコード掲載)

P.32-P.33 ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識
寄付金のメリット

P.40-P.41 世界中のロータリープロジェクト

P.42 2年ぶりに50回ロータリー研究会の開催

P.45 2022年6月 ロータリー国際大会
全米ヒューストン

【縦組】

P.4-P.7 門脇厚司先生

社会力の必要性

P.9-P.12 河野忠友さん

メイドインジャパン 元気のある社長さんのお話ぜひ読んでみてください。

P.16-P.19 友愛の広場

P.26-P.27 ロータリーアットワーク

各ロータリークラブの活動を参考にして、有田ロータリークラブでも地域に関わった活動をしていきたいです。

委員会報告

※社会・青少年奉仕委員会(丸山副委員長)

「令和3年8月 佐賀・長崎豪雨災害支援金」のお願い。

※米山記念奨学会委員会(菅原委員長)

米山梅吉記念館の「100円の細い糸が館と全国を結ぶ」に会員数の入金を行いました。

ガバナーアドレス



国際ロータリー 2640地区
2021-2022年度
ガバナー
豊岡 敬 様

2019年末に中国で発生しました新型コロナウイルスの世界的な感染流行は、ロータリーにも多大な影響を与えました。2021年2月にアメリカのオーランドで開催が予定されておりました国際協議会は、初めてオンラインによるバーチャル開催となりました。RIからは、2021年6月末までは、バーチャルでの対応を基本にするように指針が出されまして、「地区チーム研修」「PETS会長エレクト研修セミナー」「地区研修協議会」は、YouTubeによるライブ配信や冊子の配布による代替えとなりました。

また、青少年交換プログラムについても、2022年6月末までの一時休止となり、その他プログラムにおいても例年とは違い、開催の取り止めや、オンラインでの対応となっております。

今後、ワクチン接種の普及によって、新型コロナウイルスの感染が終息することを願いたいのですが、変異株の感染流行などもあって、予断を許さないように思われます。

ロータリーの例会、奉仕、親睦においても安全・安心が第一です。しかしながら、休会続きであれば、会員さん達の心は自然とロータリーから離れていってしまいます。オンライン等を上手に使いながら、新しいスタイルを確立してみてください。

私は、本年度の地区スローガンを「広げようロータリーの光を！」としました。伝教大師・最澄の言葉に「一隅を照らすこれ即ち国宝なり」があります。ロータリアン一人一人

は、その職業において、奉仕活動において、青少年の健全な育成において、世の中を明るく照らす光であると考えます。そして、世の中をよりよくするために、志を同じくする人を増やして、光の輪を広げていきたいと考えます。なお、元松原中ロータリークラブの泉本信彦会員が作詞・作曲した「奉仕の光」をテーマソングにさせて頂きました。ロータリーソングの一つとして長く歌い継がれることを望みます。

RI会長のシェカール・メータ氏は、本年度テーマを「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)とされました。奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。アルバート・アインシュタイン博士が言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。また、メータ会長は「もっと行動し、もっと成長する」とも言われております。

「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味します。過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。メータ会長は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことを目標としています。2640地区は、かつては3000名を超える会員数がありましたが、現在は1700名まで減少しています。メータ会長が言われるように奉仕の原動力は、我々ロータリアン一人一人であり、会員数を増やすことで世の中を良くしていく力を付けていくことになります。地区ビジョンの中にも明記させて頂きましたが、まずは地区の会員数を早期に1800名まで回復させることを目指します。ロータリーの中核的価値観の1つが多様性であります。多様性の中でも女性に焦点をあて、会員の3割以上、ロータリーのリーダーの3割以上を女性にすると目標を立てています。2640地区では、女性会員の割合が7.7%と少ないですが、世界では女性会員の割合が23%になっています。元々ロータリーは男性社会で、女性がロータリーの会員になれるようになったのは、1989年のことです。2022-2023年度には、ロータリー115年の歴史で初めての女性RI会長ジェニファージョーンズ会長が誕生します。ロータリーの奉仕の理念や価値観を共有できる方を増強して、その結果女性会員が増えることを願います。また若い人や外国から来日された人等、多様なバックグラウンドがある会員の増強に努めていきます。

シェカール・メータRI会長は、広く一般の市民も参加できる、ロータリー奉仕デーの実施を呼び掛けています。従来のロータリーは、公共イメージの向上に力を入れてこなかったもので、世間一般での知名度は高くないです。クラブ単位で、分区単位で一般の市民の方が参加できるロータリー奉仕デーの企画・実行を行い、ロータリーの公共イメージの向上に努めて下さい。

昨年の11月にRI理事会に初めてSRF(ロータリーの未来形成)が報告されました。現在のロータリーの地区やガバナーは十分に機能していないとして、今後10年をかけて、ロータリーの組織を変えていく計画です。地区やガバナーを廃し、リージョンとセクションを設置してくそうです。

日本1国で1つのリージョンとなり、102程度のセクションを配置していくそうです。2022年の規定審議会では、SRFのパイロットリージョン案が上程される予定になっており、近隣では台湾がパイロットリージョンに選定されています。

SRFの目的は、RIの中間組織の簡素化によってフラットで風通しのよい組織に再構築するとされていますが、日本のロータリーでは、非効率な組織構造のままRIの中央集権型の構造は残ってしまうとして、否定的な意見も多いようです。今後の規定審議会において、どのようになるのかは分かりません。地区情報規定委員会より、新しい情報が分かり次第お知らせさせて頂きます。

ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付のお願いをさせて頂きます。ロータリー財団は、1917年に6代目RI会長アーチクラフの「世界でよいことをしよう」との呼びかけで、最初の寄付26ドル50セントから始まり、現在では10億ドルを超える財団になっています。継続的に奉仕を行うためには、安定した資金が必要です。

ロータリー財団のプログラムの中にポリオプラスがあります。1979年にフィリピンで児童への経口ポリオワクチンの投与が行われ、1985年にポリオプラスキャンペーンが始まり、世界からポリオを根絶するために財団への寄付が活用されました。昨年アフリカでのポリオ野生株の根絶がWHOで確認されました。あと残すは、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけです。引き続き、ポリオプラスも含めて財団へのご寄付をお願いします。寄付目標は、年次寄付一人当たり180ドル、ポリオプラス寄付30ドルでお願いします。

米山梅吉翁の遺徳を記念する事業として1952年に東京ロータリークラブは、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。これが今日のロータリー米山記念奨学会事業の始まりです。米山奨学生は、日本と母国の架け橋となる人材を選考していき、この50年間に累計で2万人、出身国は120を超える国と地域になります。寄付目標は、米山普通寄付を一人当たり6000円、米山特別寄付を一人当たり10000円とさせて頂きました。

日本国内34地区は、ロータリー財団への寄付と米山奨学会への寄付ゼロクラブゼロを目指しております。奉仕の原資として寄付をすることは当然のことなのですが、34地区で足並みを揃えるためにも、ゼロクラブゼロを目指していきたいと思えます。どうぞ、上半期のうちに些少でもご寄付して頂くことをお願い申し上げます。

私はロータリーの最大の奉仕は、人創りだと思います。米山奨学生やローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、RYLA研修生の育成を通じて、世界でよいことを実践する人材を輩出することが使命だと思います。一方我々ロータリアンも自己研鑽を積み成長していくことが必要です。また次世代のロータリアンの育成に尽力する必要があります。2640地区では、RLI(Rotary Leadership Institute)を開催します。RLIは、国際ロータリー公認のプログラムではありませんが、国際協議会でも導入されているファシリテーター方式によりロータリーを理解するプログラムです。けして、単なる会議の進め方ではありません。

RLIのプログラムの中には、DL(Discussion Leader)の存在が重要であり、2640地区ではDLの育成に重点をおきます。各クラブにおいて、将来を担う人材をDL研修に出して頂くことをお願いいたします。

2640地区では、戦略委員会にて地区の中期ビジョン、アクションプランなど直前ガバナーを委員長とし、パストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーと共に検討しています。各クラブにおいても、どんなクラブにしたいのか、どんなクラブであるべきなのか、どんなクラブを目指すのか、クラブの柔軟性、継続性において検討をお願いします。クラブの将来ビジョンに基づいて、実行すべきことを考えて行きましょう。

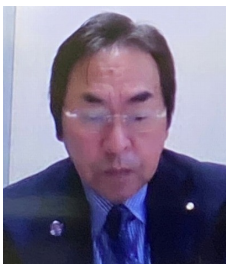
ロータリーの生みの親である、ポールハリスは、生まれはウィスコンシン州ですが、子供時代から青年期を東海岸のバーモント州で過ごしました。最初に入學した大学はバーリントン市にあるバーモント大学です。私もポールハリスの100年後、同じバーリントン市で学生時代を送りました。バーモントは、本当にのんびりとした田舎で、人の数より牛の数の方が多いと言われています。そんなバーモントの田舎から、マフィアのアルカポネが暗躍する大都会シカゴで弁護士事務所を開業したポールハリスは、殺伐としたシカゴで本当に信頼できる友人を得るためにロータリークラブを設立しました。ポールハリスは、ロータリーの例会に出席すると「童心に還る」と言われております。ですから、ロータリーの原点は、信頼できる友人と出会える場なのだと思います。もう一度、地区スローガンに戻りますが、「広げようロータリーの光を!」、ぜひロータリーの友愛の光を広げて、志を同じくする仲間を増やしていきましょう!

第2回DL (ディスカッションリーダープログラム) 日時：2021年9月4日(土)



閉会・点鐘

〔松村会長〕



例会終了後、クラブ協議会が開催されました。

国際ロータリー 2640地区
第2分区 ガバナー補佐
中西 秀文 様

次週 10/7(木) は
休会です

日程	10月の例会プログラム
10/7(木)	休会
10/14(木)	前期IDM発表
10/21(木)	米山記念奨学生卓話
10/28(木)	会員卓話 井上 修平 君